

第64回公立学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会

熊本大会

終了後の今後につながる参考意見

平成28年7月15日
熊本大会実行委員会

第64回公立学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会
熊本大会終了後の今後につながる参考意見
(各部とりまとめ)

部・局	事務局
-----	-----

1 担当した係の大会前日までの準備について

※「Alt」＋「Enter」で改行できます。

【事務局総務係】

・事務局では、担当割がしっかりしており、担当分掌だけでなく、電話やメールでのやり取りで、お互いをカバーすることが出来た。
8年後の事務局でも報連相をしっかり行っていく事が成功へとつなげることが出来ると思います。

・新年度になってから、実行委員会等の出席依頼文の送付が遅くなって、御迷惑をお掛けしました。

【事務局会計係】

・各部で工夫して節約して頂いたおかげで、大会運営予算の支出を抑えることができました。
次大会への積立金へ回すことができます。御協力、ありがとうございました。

(事務局会計係としての、申し送り事項です。)

・熊本地震の影響で会場が変更となり、既に印刷済み・発送済みであった案内文書や会場配置、必要物品及びそれらに伴う経費が大幅に変更になりました。

また、地震後に唯一使用が可能であった、KKRホテル熊本様には、特別の配慮をしていただき、格安の値にいただきました。

会場内の机イスなどの配置や準備はホテルがしてくださり、人的に助かった面もありますし、会場がホテルになったため、お弁当の持ち込み料が発生したりもしました。

2 担当した係以外で気になったこと

【事務局総務係】

・今回は、熊本地震というイレギュラーな事態でもあり、会場変更等で日時の変更などが大変だったと思います。

・県内宿泊を確認するための用紙を宿泊する方へ配付されていたが、コンベンション協会の様式ではないのでコンベンション協会さんとしては、不要ということでした。

コンベンション協会さんから事務局へ問い合わせがありましたが、配付を把握しておらず反省しています。県内宿泊者数の確認は、後日コンベンション協会さんに参加一覧を送付するとよいとのことでした。

3 全体的な大会運営・実行委員会の組織図等について

大会運営・組織図は問題なく、スムーズに行えた。

4 その他感想等

・8年後の熊本大会でも、今大会のように様々な事態でも対応できる実行委員になるようにしたい。

・今回の地震で、学校が休校せざるを得ない状況となり、学校だけでなく、個人の生活環境も大きく変わりました。震度3以上の余震も引き続き発生し、地震が進行形である中であって、気持ちの上で一区切りつくこともできないまま、地震への恐怖で、これから先のこと、学校が、生活が、どうなっていくのか・・・本当にイメージさえわかりませんでした。

それほどに、精神的なダメージが大きかったのだと思います。

そんな4月の状況下で、今大会を実施するという決断をするのは、本当に苦渋のことだったと思います。

多くのことを悩み、考え抜かれて出された結論に、皆で力を合わせ無事に終えることができたこと、そして、九州各県の方々から励ましの言葉や拍手をいただいたことに

本当に感動しました。

長崎への引継ぎまでは、もう少し仕事も残っていますが、大会運営に携わる中で、相談できる環境にあったこと、協力し合える仲間がいたこと、それが本当に支えとなりました。ありがとうございました。

平成28年度熊本大会当日について
(各部とりまとめ)

部・局

事務局

5 大会1日目(平成28年7月5日)

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

【事務局総務係】

・1日目の理事会会場がこちらからの席次表と違っていたため、急遽会場設営等を行いました。(ホテルが全面的に行った)メールやFAXでの席次表を送るだけでなく、送った後も電話で担当者との打ち合わせを行い、確認を取る必要があると感じました。

【事務局会計係】

・KKRホテルの2階で受付でしたが、1階に特に表示がなかったので、案内係の配置があると良かったと思います。(会場変更によるもので仕方ないとは思いますが)

・(事務局会計係としての、申し送り事項です。)

お弁当代(1日目の大会役員分)は、大会実行委員会の予算から支出、

お弁当代(1日目の理事会分)は、九州協議会予算から支出、

お弁当代(参加者分)は個人負担なので、大会実行委員会の予算とは切り離して独立会計となります。

参加費とお弁当代は、大会実行委員会の通帳に入金振込がありますが、昼食代については、収入としては計上しません。

ですので、請求書や領収書はそれぞれに分けてもらう必要があります、また、支払方法に関しても後日振込となると振込手数料が発生するので、当日支払いをするか、現金で集金にきていただく必要があります。

6 大会2日目(平成28年7月6日)

【事務局総務係】

・事務局では、2日目自体は仕事がないため、各部署の手伝いに回ることが出来ると感じました。8年後は、立ち回りを決めていればもっと動くことが出来たと思います。

【事務局会計係】

・終わってしまった後思いましたが、全日程終了後、会場から出ていく他県の方を、熊本県実行委員でお見送りする場があれば良かったと思いました。

第64回公立学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会
熊本大会終了後の今後につながる参考意見
(各部とりまとめ)

部・局

総務部

1 担当した係の大会前日までの準備について

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

- ・特別講演者(出田学長)への依頼状作成が割り振りができていなかった。結局、会長に作成していただいた。申し訳なかったです。
- ・関係者へのお礼状作成について、これも特に担当者を決めていなかったため、豊永先生が気を利かせて起案してくれ助かりました。
- ・各起案文書を停滞させてしまい、担当者に迷惑を掛けました。申し訳ないです。
- ・総務部は、大会の変更により多大な労力を強いられ、それに対応していただいた先生方に感謝します。

【庶務】

(反省)

- ・(起案)起案をメールで回す際には、併せて電話でも相手に連絡した方がよいと思う。送付相手が多忙のため数日間メールを開かない場合もあり、起案者が気を揉んでいたことが何度かあった。
- ・(支払)納品業者さんには、支払の予定時期を事前にお伝えしておくことよい。普段から取引のある業者さんはあまり心配ないが、今回は記念品の納品者さんが普段は取引が無い相手で、納品後にお問い合わせがありました。「請求後〇日以内に」とあらかじめ契約時に伝えておく相手は安心かと思えます。
- (気になったこと)
- ・副部長の豊永先生に何かと負担をかけてしまったように思う。一部に負担が集中したところが無かったかどうか気になっています。
- ・功労者表彰者の中で、当日出席する方への「表彰式当日の案内文」が発送が開催直前になってしまった。会場図の変更があったことが理由であるが、変更前でも「座席の位置に変更の可能性あり」として、早めに送付しておいた方がよかったと思う。直前すぎて、当日に案内文の存在をご存じなかった方が多かった。案内文を余分に持参していたため、その場で説明して問題なく終えることができた。
- ・第3回実行委員会の時、会場のステージで実際に模擬表彰式を数回実施したことで、本番のイメージづくりができた。
- ・参加券・領収書等の発行においては、参加者の変更・追加等が多く、担当者が大変だったように思う。
- ・地震の影響で、参加券等の再印刷が必要となり経費がかかってしまった。大会があるのか中止か延期か不明だったので仕方なかったが、印刷をストップしてもらっても良かったかもしれないと、今となっては思う。
- ・表彰者の一次調査と本調査で誤差が10人あった。異動の関係かもしれないが、地震の影響で一次調査の数で表彰状フォルダを発注せざるを得ず、想定外だった。
- ・決裁時に、年度末の忙しい時ということもあり、メールがストップすることがあった。急ぐ時は電話が一番だと思った。
- ・当初の役割分担には書いてなかった業務もあったが、班長・副班長を中心として柔軟に対応できたと思う。
- ・功労者表彰の人数について、一次案内と二次案内で人数に変化があったため、感謝状やフォルダー、記念品の数を業者さんがいつまで変更可能かなどは注意が必要だなと感じました。

【涉外】

- ・涉外係のスケジュール作成をしました。・・・10月～11月
- ・会場の下見を行い、来賓者の動線確認やトイレ・給湯室等の確認を行いました。熊本森都心プラザ・・・実行委員会
- ・来賓者への依頼文作成を行いました。・・・2月上旬
- ・大会会場変更のためKKRホテルの会場下見を実施しました。H28年6月の実行委員会

- ・来賓祝辞の原稿案を作成しましたが、熊本地震の発生でほぼ内容が入れ替わりました。仕方ないことだと思います。
 - ・来賓依頼については、総務部長、副部長、名川先生にお任せする形となっしまい、お手伝いすることもなく申し訳なかったなと思う次第です。
 - ・来賓臨席申請・祝辞依頼(祝辞案作成)
 - ・講演者紹介原稿作成・顔写真受領
 - ・来賓送迎、接待、昼食の検討
 - ・来賓出席確認
 - ・(リハーサルにて)来賓の動線確認
 - ・熊本市教育長の祝辞案
- 上記は書き直しになったと聞きましたので、実質なにもできていないと思います。
名川先生をはじめ先輩方には大変お世話になりました。

【司会・進行】

稿作成(アナウンス練習)

研修部・・・司会・助言者との打ち合わせ アナウンスの分担・進行手順について

総務部・・・来賓・総会の議長・発言者の確認等対外窓口(今回は豊永先生)との打ち合わせ

運営部・・・会場設営・機材・備品について打ち合わせ

ホテル担当者・・・機材・音響の確認

総合司会の原稿を他の部署の先生にも見てもらい校正をかけました。

最終原稿が遅くなりご迷惑おかけしました。

・放送機器は、実際に会場で使用する機材を見るまではボヤ～とした感じでした。

・リハーサルの日、ホテルのスタッフさんと打ち合わせの中で、功労者表彰時の式典用BGMについては、著作権上の問題でホテル側は準備できないため、会場使用者が準備してほしいとのことでした。

学校の卒業式で使用したBGMを準備しました。

・放送設備の操作については、使用者は基本的に操作が禁止されているようで、ホテルスタッフが行うのが原則とのことでした。けれど、ホテルスタッフさんが動けない場合に備え、基本的な操作方法(マイクのボリューム、照明等)を習いました。

・放送が聞こえる範囲を事前に確認しました。今回は会場内しか聞こえないとのことでした。会場外は別の機器になるそうです。

・司会進行表を変更のつといただいていたので、操作の段取りがしやすかったです。

2 担当した係以外で気になったこと

・総務の先生方と一緒に、打ち合わせをしていく中で、他の様子を伺って助かった面もありました。

・総合司会者の負担が大きかったのではないかと。大会の1日目と2日目で司会担当を分けてもよいように思いました。

・会場のマイク係が後方に配置されていたため、司会の先生がマイクを持って行く場面があった。発言は少ないかもしれないが、前方にもマイク係は必要かなと思いました。

3 全体的な大会運営・実行委員会の組織図等について

・組織図の内容はいいと思う。

・庶務班の中の担当割り振りに若干差があったように思う。

・同じ班の先輩方に相談しやすく大変ありがたかったです。

・前鹿児島大会に参加されていた方が多く、初対面の方が少なかったのも非常に落ち着いて大会や準備に参加することができました。

・よく考えてあったと思います。

4 その他感想等

- ・今大会は地震による延期で、それぞれご苦労されたことと思います。結果的には開催できて本当によかったです。開催の是非を検討した際には賛否両論あったとのこと。開催でも中止でも、決断は本当に大変だったろうと拝察します。お世話になりました。
 - ・初めてだったので、実際に動いてみないと分からないことが多すぎた。特に今回は、熊本地震の影響で仕事内容が二度手間になったことが多く、直前まで準備がかかったと思う。しかし、予定どおりに進まない場合も、臨機応変に対応できる力が必要だと感じた。実行委員、みんなで力を合わせて作り上げることができ、年代を超える仲間づくりができた。今後の仕事に活かしていきたい。
 - ・先輩方に頼りきりでしたが、大変よい経験になりました。これまで参加させていただいた研究大会なども大会までにたくさんの方々の準備があって開催されていることを実感しました。ありがとうございました。
 - ・今回私は、受付業務の人数不足ということで、第1日目は佐賀県・大分県・鹿児島県の受付業務を前半、行いました。机のサイズも横が150センチぐらいありましたので、スムーズに業務ができました。午後からの来賓対応では、名川事務長先生を中心に渉外係のチームで5人で案内誘導・貴重品の管理等で来ていたと思います。第2日目は講演者の出田先生と30人ほどの生徒さん方の誘導案内を行いました。ホテルの方の協力もあり、良く対応できていたと感じました。
 - ・全体として3日間の日程が2日間に短縮されたものの、内容や時間配分はその方が変えて充実したものとなったのではないかと感じました。特別講演で音楽に触れることができたのが、最後の時間にもってこいのゆったりとした時間となって、とても良かったと思います。
 - ・各県の研究発表を聞き、どの県も課題に感じている事は同じであることを改めて実感しました。私がしたことはほんの僅かですが、初めての九州大会を実行委員という形で参加でき、大変いい経験となりました。熊本地震による多大な被害を受ける中、熊本大会成功のために動いてくださった常任委員会の先生方、本当にありがとうございました。
 - ・熊本地震の影響で各学校大変なことになっている中、豊永先生をはじめ役員の方々のおかげで大会を開催することができ、また、微力ながら実行委員として参加することができたことをとても幸せに思います。
- 事前準備も難航したと思います。私も8年後16年後、いずれ中堅になっていく中、今回の先輩方の背中を思い出して、少しは使える人になれるよう今後努力していきたいと思いました。
- ・会長・事務局の先生の多大な御尽力により成功した大会だったと思います。特に、接点のあった豊永先生においては理事の交代や震災後の業務の忙しい中よくやっていただいたと思います。お疲れ様でした。
 - ・大会当日は会場がホテルだったのでステージ・機材の設定スムーズで楽だったと思います。

平成28年度熊本大会当日について
(各部とりまとめ)

部・局

総務部

5 大会1日目(平成28年7月5日)

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

・特別講演に運営で、急な変更もあったが、皆さんが臨機応変の対応をしていただき、なんとか終わることができました。ただ、ピアノの不具合は、やっぱりその場のぎとは行かず残念でした。謝金の受け渡しも細部にわたって打ち合わせをしておくことが必要だったと思います。誰に渡すのか、また、領収書はどうするのかなど。
・来賓の対応はまずまずだったと思います。早く来られるのも遅く来られるのも対応が大変でした。お帰りの際の対応が大事だと思いました。人手をもっと割り振っておけば良かったなあと反省しています。終わりがきちっとしていないといけないと思いました。
・集合時間が早かったせいもありますが、余裕をもって当日の流れが確認できたと思います。少し時間を持て余したところもありましたが、準備をしっかりとってきたとも安心感もありゆとりがありました。

【庶務】

・当日の仕事

- ①賞状・記念品準備、表彰式の確認…(午前中)
 - ・不参加者分の仕分けや発送準備まで、予定どおりスムーズに準備できた。
 - ・6/8の実行委員会(打合せ)の際にホテル側に発送依頼をしておいてよかった。(通常、宅配便は現金支払いだが、後日請求分に含めてもらえた)
 - ・【反省】付箋やハサミなど必要な用具の持参者を決めていなかった。
 - ②開会式の間、熊本県理事席に着席して空席を埋める。
 - ・他県の理事席は空席のままだったが、ステージ側から見てバランスはどうでしたか？
 - ③表彰式対応…(午後)
 - ・事前に受け渡し方まで含めて予行をしていたので支障なく進行できたと思います。
- ・表彰状を授与する際、表彰状の名前の横にふりがなを書いた付箋を貼り付けた。名前の読み間違いもなく、よかったと思う。
- ・表彰者の座席の机の上に、学校名と名前を記して、ご本人の確認が確実にできた。
- ・表彰者の出席11名のうち、数名が九州協議会理事であり、表彰者受付を通られなかった方が1名おられた。
- ・表彰式の代表者挨拶の間、表彰状と記念品を預かっておかなければならない。今回はホテルマンがしたのでよかったが、ホテルではない場合は、自分たちがしなければならなかったと反省した。
- ・表彰式ステージへの登壇タイミングは、スタッフ2人がポイントに立ち案内しスムーズでよかった。
- ・スムーズに進み、特に問題はなかったように思えました。
- ・大会当日の表彰式前に複数で感謝状の氏名や順番などを確認しておくことができたので、表彰式では落ち着いて受け渡しの補助をすることができたのでよかったです。

【渉外】

- ・1日目の前半部分は助っ人として受付業務を行いました。問題なく仕事ことができました。運営部の方々が仕事をやるやすくしていただいたためだと思います。
- ・後半は渉外係に戻り来賓の方々の対応を行いました。名川先生を軸にスムーズに行くことができていたと思います。控え室から会場までの動線もわかりやすくて良かったです。
- ・来賓対応は来賓案内3名(会長、副会長、係リーダー)、湯茶接待2名でした。来賓が少数だったこともあり、スムーズに対応できたと思います。
- ・来賓への接待用に、手頃なサイズのお盆を準備しておけばよかったです。(当日はホテルからお盆を借用したが、レストラン等で使用するような大きなサイズのものだったため)

- ・鹿児島県、大分県、佐賀県の受付をしました。学校名を言われても何県の学校なのか分からず手間取ってしまいました。
- ・参加券に学校名と名前だけでなく、県名の記載もあれば受付がしやすかったように感じました。もしくは、予算上問題がなければ、受付をまとめて行う県だけでも県ごとに参加券の色分けをしてもよかったように思います。

【司会・進行】

- (1) 次の項目について当日のアナウンス対応が必要になった。
 - ・駐車場の割引サービス・荷物預かりの場所・昼食の案内(弁当配布・昼食の場所)
- (2) 当日確認事項
 - ・来賓の出欠・変更がないか
 - ・功労者表彰の出欠
 - ・研究発表者紹介のための氏名最終確認(本人に確認した)
 - ・ホテルフロア一係の方と開会前に日程と流れについて確認しました。

※反省事項

- 練習不足のため緊張しました。
 - ・表彰式について
 - 予定時間より10分程度早く終了した。
 - 表彰者の方のお名前をもっとゆっくりと丁寧に読み上げて、時間の管理をするべきであった。
 - ・リハーサル等でしっかり準備できていたので、特に何もありませんでした。

6 大会2日目(平成28年7月6日)

【庶務】

- ・当日の仕事
 - ①「うつくしいひと」対応
 - ・預かった募金箱を設置し見守り。昼休み終了後にキャラバン隊員にお渡し。特に問題なし。
 - ②表彰式不参加者の記念品等を各県担当にお渡し。
 - ・【反省】ほとんど豊永先生に対応していただいた。事前に各人にお声掛けしていたが、忘れて帰った方もいて少し慌てた。結局、1県には宅配便で発送した。
- ・出席できなかった表彰者へ表彰状と記念品を送付・手渡ししたが、数人分でも荷物になるので、すべて各県あてに郵送した方がよかったかもしれない。
- ・「うつくしいひと」キャラバン隊の熊本城復旧募金では、多くの募金が集まりよかったと思う。熊本城が間近で見られるKKRホテルということもあり、熊本城の復旧募金への効果があったと感じた。弁当を会場内でしか食べてはいけないうちで、映画鑑賞されている方がとても多かった。時間配分もちょうどよかった。
- ・会場借用料が高いとは思いますが、机椅子等の片づけをしなくてよいのでいいと思う。
- ・スムーズに進み、特に問題はなかったように思えました。
- ・2日間ともに会場が少し肌寒かったように感じました。

【渉外】

- ・講演者の対応を行いました。人数が多く控え室が少し狭かったように思いました。しかし、地震の影響で会場の変更を行ったため仕方ないことだと思います。
- ・女性の方の着替えの部屋が不足したが、ホテルの方に準備していただきました。
- ・講演の学生の方が予想以上の人数だったこともあるが、控室の大きさ、数が不足していたと感じる。男女それぞれの更衣室の確保が必要となり、急遽ホテル側に部屋の確保をお願いすることとなった。
- 冷たい湯茶や、お菓子を準備していたことは、とても喜ばれてよかったと思う。
- ・平成音大の学生さんが来られた時、大人数だったこともあり、控え室が少し窮屈でした。また、着替える部屋がほしいとの事で、ホテルの方に急遽空き部屋を提供していただきました。事前確認の際に、人数や着替えの要・不要などしっかり確認しておけばよかったと感じました。
- ・平成音楽大学の学生の方々が、準備していたお茶やコーヒー、お菓子にとっても喜んでいらっしやいました。

【司会・進行】

(1) 次の項目について当日のアナウンス対応が必要になった。

・「うつくしいひと」映画上映の案内、弁当受付が未終了者への案内

(2) 当日確認事項

・特別講演の段取り

・総会議長へ進行確認

・ホテルフロア係の方と開会前に日程と流れについて確認しました。(講師紹介等でワイヤレスマイクを使う等当日の打ち合わせで微調整がありました。)

※反省事項

司会2人での合同練習不足でした。

特別講演の講師の先生への花束贈呈・退場のタイミングの打ち合わせが不足していました。

・大会終了について

大会の最後に総合司会2人で一緒にアナウンスする場面を設定していたが、事前に練習していなかったため、バラバラになってしまった。

当日に練習する時間はあったので、一緒にアナウンスしてみて、練習してもうまくいかなかったら、1人でアナウンスするよう変更するべきであった。

・リハーサル等でしっかり準備できていたので、特に何もありませんでした。

第64回公立学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会
熊本大会終了後の今後につながる参考意見
(各部とりまとめ)

部・局

大会運営部

1 担当した係の大会前日までの準備について

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

【受付係】

- ・胸章の準備や受付用名簿作成のため、名簿を早めにいただければよかった。
- ・当日のみ受付助っ人の方に事前に受付業務の流れ等お知らせしておけばよかった。
- ・会場が変更し計画が振り出しに戻ったので、当日変更する部分も多かったですが、事前に役割を明確にいただいたので動きやすかったです。
- ・事前準備については、先輩方に頼りきりで、あまり力になれなかったのが申し訳なく思います。
- ・会場が変更になったため、受付配置場所の見直しなどの手直しもありましたが、手荷物をクロークで預かっていただけのようになったことがとても助かりました。
- ・会場がホテルになったことで、準備をほとんどホテルにお任せすることができました。
- ・手荷物預かり所をどのように運営するか、どうやってトラブルを防ぐかというのが受付案内係の一番の心配事でしたが、結果的にホテルのクロークでやってもらったので本当にほっとしました。
- ・受付案内の観点からは、ホテル開催はとてもよかったと思います。

【会場係】

- ・メール等で実行委員会で話し合ったことの確認や再確認することなど共通理解を図る場があつてありがたかったです。会場配置図やふんどの作成等もっとお手伝いできればよかったと思います。
- ・県外の参加者について、車椅子の参加者等、配慮を要する参加者を事前に確認しておくべきだった。
- ・県内にも車椅子の参加者(実行委員)がいたので、会場への入場や席は対応することができた。県内の車椅子参加者がいなかったら当日慌てたと思う。
- ・自分自身が起案の決裁ルートを良くわかっておらず、文書の流れにブレーキをかけてしまった。
- ・大会2週間前に、大会運営部の実行委員会が集まり、KKRホテル責任者をまじえ最終打ち合わせができたのは良かった。
- ・九州協議会理事会の会場設営図の直近のものがKKRホテル側に徹底されておらず、当日急遽設営し直しとなった。
- ・会場の変更があり、ホテル側の多大な協力がありとてもありがたく思いました。当日までは実際は思っていたほどの業務ではなかったが、不安ではあった。これを森都心プラザで行った場合と考えたら、準備等に人員確保と時間が必要と思いました。

【接待係】

- ・私は昼食担当として、当日までは主に業者の方との連絡、試食会をしました。試食会は、女性の割合が多かったので、老若男女様々な意見を聞ければよかったと思いました。
- ・今回、熊本地震の影響で、会場やお弁当の個数に変更がありましたが、業者さんが快く対応してくださったので、助かりました。
- ・会場が変更し、KKRホテルは飲食物の持ち込みに厳しく、お弁当配布の配置等の要望ができなかったです。

2 担当した係以外で気になったこと

- ・お弁当代の徴収が大変そうだと思いました。
- ・地震後、会場予定だった森都心プラザが使用できなくなりましたが、他の使用可能な会場の予約、日程調整等を行われた先生方のおかげ大会を開催することができたと思うので、感謝したいと思います。
- ・自身のことで頭がいっぱいだったため、他の業務までは正直、見るができなかった。
- ・各部、係も尽力していたように思います。

3 全体的な大会運営・実行委員会の組織図等について

・部や係にかかわらず、互いに協力し合って動けていたと思う。他県の参加者からも、「熊本県はアツくて良いチームですね」という言葉もかけていただいた。

・熊本地震の影響により、日程及び会場の変更がありましたが、昼食時の「うつくしいひと」の上映や講演会も熊本をPRする内容となっていてよかったと思います。

・各部、各係で忙しい時期が違いますが、手が足りないときは他の係からの手伝いがあり、協力体制ができた組織だったと思います。

・バランスのとれた構成になっていたと思います。異動が重なり再構成等、ありがとうございました。

・準備期間途中(4月途中)で実行委員へ加入したため、だれがどこの係なのかよく分からなかった。

・しなければならぬことが詳しく記入されており、とてもわかりやすかった。

・今回、九州大会熊本大会に実行委員として参加させていただき、ありがとうございました。私にとって、とても貴重な経験となりました。企画・運営をしていただいた先輩方のおかげだと思います。この経験を8年後に活かしたいと思います。

・全体的に問題なくスムーズに進行していたと思いました。進行スケジュールなど綿密に準備をされていたのかと思います。

4 その他感想等

・他県の参加者から、「熊本県のみなさんなら、決して大会を中止にもしないし、必ずやってくれると信じていました」という、嬉しい御言葉をいただいた。他の大会に参加しても感じるのだが、九州各県から熊本県は一目置かれてる存在であると自負すると共に、今後もそうあるように協会員みんなで盛り上げていかなくてはならない。

・実行委員として参加させていただき、微力ではありますが運営に携わることができ大変勉強になりました。

ひとつのものをつくりあげることの難しさと終わったときの達成感を味わうことができました。ありがとうございました。

・4月に熊本地震が発生し、学校によっては甚大な被害が出たところも多い中、1ヶ月の延期で大会を開催できたことは、実行委員の先生方の大きな苦勞があったと思います。その大会に関わったことは貴重な体験になりました。

・もっと準備に協力できればよかったと思います。

・初任の方々が積極的に動いてくださり、パワーを感じました。

・役割分担のすきまに落ちそうな業務があった。

・駐車券精算についてのアナウンス依頼

・無料駐車券の集約

・理事会会場、監査会場、来賓控え室、講演講師控え室等の会場設営

・今回の九州大会では、多くの先生方とお話しをすることができ、とてもいい機会となりました。準備にも関わることができ、貴重な経験となりました。

平成28年度熊本大会当日について
(各部とりまとめ)

部・局

大会運営部

5 大会1日目(平成28年7月5日)

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

【受付係】

- ・思っていたほど混雑することもなく、スムーズな受付ができたと思う。
 - ・参加券の再発行が予想以上に多く、用意していた券が不足した。
 - ・車いすの方の会場への案内や多目的トイレの場所について、事前に会場係と打ち合わせをしておけばよかった。
 - ・当日初めて実際の場所で受付全体の様子をみたので、追加で机を用意するなどしてホテルの方に協力していただきました。
 - ・1日目は名簿のチェックや大会資料の配布などもあったので、助っ人を多く配置してくださったので大変助かりました。
 - ・2日目は1日目と受付の方法を変えて、参加券を籠に入れていただくような簡易な形式でしたが、特に問題もなく事務的な負担も軽かったのでよかったです。
 - ・受付場所の準備は、特に問題なく行えました。
 - ・午前中の受付では、来賓・発表者の受付場所が変更になった旨の連絡が全体に伝わっていなかったため、来賓者等への案内で少し困る場面もありました。
 - ・午後からは、参加券の再発行・当日券の発行を担当させていただきましたが、思っていたよりも再発行の方が多かったため、20枚用意してあった当日券のうち19枚を使用しました。あと、長崎県の方から、参加者へ名札を配りたいので受付に置いてほしいという依頼があったので、近くにあった小さな机に並べて、受付にこられた方に名札を取っていただくよう伝えていました。
 - ・全体的に、スムーズに行えていたと思います。
 - ・受付時、券を忘れて来た方へは別の場所で再度受付していましたが、県ごとに分けている名簿にも確認の意味でチェック等をつけていればまだ来ていない人の把握ができたのではないかと思います。参加券に番号がふってあったので、名簿とチェックしやすかったです。
 - ・当日お手伝いをしてくださる方へ集合時間や受付開始時間を伝えていなかったため、開始時に少しあわててしまいました(全員そろっていないのに予定より早く受付を開始してしまいました)。申し訳ありません。
 - ・当日参加者用のつり銭資金準備を検討していませんでした。(結果的には不要でしたが)
 - ・全体的には、予想していたほど混み合うこともなく受付ができました。
 - ・スペースや受付人数等十分だったと思います。
- (一日目:テーブル6 受付人員:実行委員4 お手伝い10)

【会場係】

- ・当日、打ち合わせ通りにできていたと思う。
- ・やはり、ホテルの方の協力が大きかったと思う。
- ・受付後、空席を探すために会場の入り口付近で渋滞が起こっていた。開会時間間近になると、特に混雑していた。会場の両サイドに会場案内係を両サイドに1名、後方に1名ずつ配置をし、空席の状況を確認していけばいいと思います。(当日は気づくのが遅かったため、何名か椅子だけの状況があった。)
- ・大会当日になって、他県の参加者で車椅子利用の方がいることが判明し、急遽席を用意した。今後、参加申込書の備考欄に、配慮が必要な場合等を明記するように案内するとよいのではないかと感じた。また、メイン会場の広さの都合により、通常の入出口から車椅子では通れなかったため、ホテルスタッフ専用の裏口を利用させてもらった。実行委員らの協力により、特に混乱はなかったが、今後の改善事項として挙げたい。
- ・係内で午前中に場所の最終確認等できて安心しました。
- ・研究発表時の机。椅子等の確認を行っていましたが、一度動かすと場所がわからなくなっていたので、ステージに目印等貼っておくとスムーズに設営ができたのではないかと思います。
- ・会場がほぼ満席で良かったが、きゆうくつな印象もあった。
- ・県外参加者の車いす対応が急遽必要だった。(事前に把握していなかった)
- ・質疑応答のマイクが不足した。(用意できるマイクに限りがあった。)
- ・司会者自ら、自分の使用マイクを質問者にもっていくシーンが2~3回あった。
- ・ホテル側で設営をしてくれる等、楽な部分もあったが、ロビーでの飲食不可や飲食物持ち込み禁止等制約も多く、自分たちで臨機応変に机の位置等変えられない不自由さも感じた。

【接待係】

- ・お弁当の配付・回収もスムーズに行えていたと思います。
- ・大会1日目は、受付時にお弁当の追加注文の方の現金徴収を行い、その後、お弁当の配布を行いました。現金徴収の際、事務局の方にお釣りを準備していただき、助かりました。お弁当の配布については、2階、3階までの誘導をホテルの方にきていただき、スムーズに行うことができました。ゴミの回収袋の準備、お弁当の搬出も主にホテルの方が指示してくださったのでとても助かりました。
- ・大会自体は、午後の全体会から参加しましたが、研究発表に対する質問・意見が熊本県の方々が多くされていて、有意義な研究発表になったと思います。
- ・会場の広さの関係もあるかと思いますが、もう少し席があるとよかったですと思いました。
- ・現金徴収の件など、司会の先生にアナウンスしていただき助かりました。
- ・受付開始時刻前から来られている方が多く、配慮が至らなかったことが、受付・誘導として力不足だったと思います。しかし、各県に分けて受付を設けたことにより、スムーズに進行でき、参加者の方も同県の受付状況を簡単に把握してもらえたと思います。
- ・反省点としては、当日お弁当代を徴収するための、おつり、現金の保管方法等事前に係でできることがあったはずだと思いました。
- ・午後から研究発表会にも初めて参加することが出来て、各県の会計規則や修繕の仕方・考え方を知ることができて、大変有意義な研究会になりました。
- ・会場内は、自動販売機がなかったので湯茶セットがあっただけよかったです。

6 大会2日目(平成28年7月6日)

【受付係】

- ・2日目もスムーズな受付ができたと思う。
- ・二日目は、各県ごとにカゴを用意し、その中に参加券を入れてもらうようにしたため、少人数で対応することが出来ました。
- ・2日目は参加券をカゴに入れてもらう形式で受付しました。スムーズにできたと思います。
(二日目:テーブル1 受付人員:実行委員4)

【会場係】

- ・昼の休憩のときはピアノをどうするのかわからなく、Watcherになってしまっていた。
- ・「うつくしいひと」の上映は皆さん静かに鑑賞しており、とてもよかったですと思いました。
- ・2日間通してとてもいい研究大会になったと思います。実行委員になり不安ばかりでしたが、無事終えたことで今後への収穫になったと思います。
- ・会場の一番後に椅子を出してすわっていらした方もいたので、空席の確認や「前の方へ」という声かけがあればなおよかったですと思いました。
- ・個人差がありますが、空調がききすぎているように思うので、室内温度も気にかけることが必要だったと思います。
- ・特に大きな問題等なく大会を終えることができてよかったです。
- ・2日間の日程でコンパクトによくまとまったと思う
- ・講演時のいきなりのピアノ使用には驚いた。
- ・ペダルのキコキコ音は残念だったが、ピアノ使用はないということだったので事前の調律もなく仕方なかった。
- ・参加者はほとんど座りっぱなしだったので、今回くまもん体操等で昼休みに体をほぐす機会がなかったのは残念。

【接待係】

- ・2日目も受付時にお弁当の現金徴収を行いました。現金は無事全員分徴収できたので安心しました。
- ・当日参加券の他に昼食引換券の忘れも数人いたので、再発行券の準備があっただけ助かりました。
- ・お弁当の配布準備は1日目同様、ホテルの方に指示していただきました。参加者への配布ですが、ホテルからの指定で、配布場所は入口前に机を2列に並べて行いましたが、もっと人の動線を考えた配布ができれば、なおよかったですかなと思いました。(誘導の看板を置く等)

- ・お弁当の個数は予備なく発注しましたが、2個余りがでました。(おそらく県外参加者の引換え忘れ)。引換券の回収時に誰が引き換えていないか特定できるように工夫すればよかったと思いました。
- ・鹿児島大会の時は、お弁当のメニューが書かれた用紙が入っていたのですが、今回も用意できればよかったと思いました。熊本らしさとして、辛子蓮根があったのでその説明などがあればよかったです。
- ・弁当の搬入から配布、回収及び搬出までの流れをホテルの方と細かく相談できていてよかったと思います。
- ・会場が変更されたことにより、喫煙所の確保や急患の対応もホテル側が請け負ってくれたため、準備と言えるほどの手伝いができなかったことが、申し訳なく思います。
- ・受付の人数が多かったにもかかわらず、弁当代徴収率が大会開始時刻には100%になったことは、先生方のご協力のおかげだと思いました。
- ・お弁当配布のときは、受付担当の先生方にも御協力いただき、スムーズに受け渡しができたと思います。しかし、引換券再発行者及び当日券は領収書との切取り部分がなく、領収書の受け渡しが一部雑になってしまったのは、反省すべき点だったと思います。
- ・お弁当が余ってしまい、誰の分か分からなかったのが申し訳なかったと思います。
- ・大会の実行委員になったおかげで、熊本県のたくさんの先生方とお話しできたこと、知り合いが増えたことが私の財産になりました。ありがとうございました。
- ・弁当の配布や追加予約分の現金精算等はスムーズに行えたと思う。

第64回公立学校事務職員協会九州協議会研究大会並びに総会
熊本大会終了後の今後につながる参考意見
(各部とりまとめ)

部・局

研修部

1 担当した係の大会前日までの準備について

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

【編集】

・発表原稿の依頼について

発表原稿を依頼する際に、メールと印刷した原稿を郵送してもらうようになっていましたが、原稿についてはその後の差替えも多く、メールで対応ができるので郵送分は不要なのではないかと思いました。

・校正について

今回、訂正シールでの対応が4箇所もあり申し訳ありませんでした。時間的余裕がなかったため、複数でのチェックができなかったことが原因だと思います。係での割り振りもあまりできなかったことも反省事項です。各県の担当を決めて調整等をしてもらえばよかったなと思いました。

時間がなくてできませんでしたが、表紙や仕切紙の写真を自分たちで撮ったものを使ってもいいなと思いました。(フリー画像だとどうしても画質が荒くなるため。)

仕切紙に生徒作品を掲載できたのは良かったです。

・冊子編集係は学校間を直接往来できるような地域の職員で構成するとよいと思った。

・校正作業は、業者の都合等により作業日時が急遽決定されたり、提出まで期間が短くなることのあるため、できるだけ速やかに係が集まれるような地区編成が望ましいと感じた。

・同封する観光パンフレットは熊本市中心部のみで、コンベンション協会からほとんど調達できたため、取得等が迅速に行えてよかったと思う。

・研究発表原稿の校正の際に、誤字脱字のチェックをしましたが、言い回しも少し気になる所もあり、それを訂正していいものか悩みました。

・原稿の校正期限をもう少し余裕を持って設定していただけるとありがたいと思いました。

・要項に同封するパンフレット類を集めるときは最初から熊本市内に限定するなどしてもよかったのではないかと思いました。(遠方の地域のパンフレットを問い合わせたり、取り寄せ、郵送してもらう等の手間があったことが想定されるが、実際に同封したのは熊本市内のものばかりであったため)

・パンフレット発行に係る取りまとめ、業者の選定や発注などほとんど係主任に行っていたので、申し訳なかったです。

・各県の原稿を手分けしてチェックし、そのうえで感想質問を司会・助言の方へ提出する方法は効率的で良い方法だと思いました。

・大会要項と一緒に配布する各地域のパンフレットなどを探そうにということで各自持ち寄ったのですが、最終的に地域のパンフレットは入れないことになったので、協力してくださった市役所の観光課の方などに少し申し訳なかったです。

・大会冊子等で全体会と表記したが、分科会があった頃の名残であり、研究発表と表記した方が良かったかもしれない。

【司会進行・司会・助言】

・司会と助言については、綿密な計画のもと研修部長・副部長との調整、進行シナリオや、打合せ資料など作成のほぼすべてを、人吉高校の宮原主任事務長がされた。経験と指導力のある方がいるのといないのでは大きな差があることを感じた。宮原主任事務長には本当にお世話になりっぱなしで、申し訳なかったが、大きな安心感の中で当日まで役割に取り組むことができた。

・各部署に経験者がいると調整がスムーズに行くので、次回の体制づくり時に考慮した方がよい
・研究発表を活性化させるためには、質問がたくさんほしいところであり、司会である私の力不足が原因であるが、今回熊本県からの質問ばかりとなってしまった。各県参加者からの積極的に質問が出るような運営方法を検討する必要があると感じた。

(たとえば、各県に質問のノルマ？的なものを持ってもらうなど)

・研究発表関係の準備については経験豊富な事務長先生が主となり進めてもらったことで効率よくスムーズに進むことが出来たと思います。

・研究発表の時間等の説明までを司会進行係で受け持ってもよかったと思いました。

・進行準備等、人吉高校の宮原事務長先生がほとんどしていただいたので、申し訳なかったのですが、大変ありがたかったです。宮原先生のデータは、ぜひ今回の熊本大会のデータとして8年後に引き継いでいただきたいと思います。

・準備が不十分であった。発表県との打ち合わせを十分にしておくべきでした。申し訳ありませんでした。

【記録】

・特に問題なく準備できたと思う。

・統一した記録用紙を準備しておけば良かったと思いました。以前の大会のビデオカメラでの撮影データを確認できれば良かったと思いました。

・大会の記録をどのようにして、どのような形式で記録するかがわからず、手探りの状態でした。昨年の九州大会での記録係の記録を見ることができれば準備もスムーズに行えたと思います。

・機材など記録係だけでは物品を揃えられなくても他校から借用するなどして物品の目途を早急に立てることができて良かったと思います。

・当日の役割分担を明確にさせていただいたので動きやすかったです。

・録音機器の設置場所等は悩みましたが、記録席からも十分に音をひろえていたので良かったです。

・前大会の資料を記録の取り方の参考にしたので、引継ぎ資料としてどのように残しておくかが重要だなと感じました。

2 担当した係以外で気になったこと

【司会進行・司会・助言】

・スタッフの皆さんが一生懸命働かれていました。御苦労様でした。

【記録】

・会場のエアコンがよくきいていた。個人的には寒かった。

・会場までの案内板(矢印等)が多くあればより親切だったと思います。

・会場内に一般参加者席の看板があれば、初めての参加者もわかりやすかったと思います。

・費用がかかることですが、大会運営・実行委員のスタッフは、大会当日にお揃いのスタッフウェア(Tシャツ・ポロシャツ等)を着用すれば、連帯感もわきますし、他県の方にもスタッフだとわかりやすいと思いました。

・訂正箇所のシール貼りが大変そうだなと思いました。

3 全体的な大会運営・実行委員会の組織図等について

【編集】

・私は初めて九州大会に参加したので比較は出来ませんが、熊本地震の影響で2日間の日程で行われたため、より密度が濃いものになったように思います。他の参加者からも間延びするような時間がなくてよかったという意見を聴きました。

・人事異動もありましたが、すぐに組織図を再編していただき、迅速な対応でした。

・私が当日割り振られているあまり仕事がなかったので、かたよりがあったのかなと思いました。

【司会進行・司会・助言】

・常任委員会の方々には大変お世話になりました。実行委員会で集まるたびに全体としての形が出来上がっていったのでとても助かりました。

・会場変更等もありましたが2日間とも大きな問題もなく終えることができたので、それぞれの部で綿密な準備をされたのだろうなと思いました。

・研究発表の司会進行係が配置されているが、分科会が無くなり会場が1箇所ですむので、総合司会者が兼ねても良かったのではないかな。

4 その他感想等

【編集】

・地震の影響で時間的余裕もあまりありませんでしたが、この大会を開催することができて、また大会運営に関わることができて本当に良かったです。

・限られた会議にもかかわらず、非常にスムーズに準備等が進んだと思う。常任委員の先生方がきめ細かに考えられて準備されたのだと感じた。

・編集係主任に主な仕事をしていただいたので、実務としては研究発表原稿の校正が主でした。大変お世話になりました。

・熊本地震の被害も残る中、九州大会も無事に終了して良かったです。実行委員として参加しましたが、各係の先生方と一緒に作り上げていくことができてとても充実した九州大会となりました。

・参加者から、各県の発表内容をもう少し早く知りたかった(1日しか参加が難しかったので、より興味のある内容の日に参加したかった)という意見がありました。

・聴覚障がいの方に向けて要約筆記が行われていましたが、そのことをもう少しアピールできたらよかったんじゃないかと思いました。鹿児島大会では手話通訳で対応されていたようですが、「熊本大会ではなにも配慮がなかった」と思われた方もいたかもしれませんし、要約筆記は手話通訳よりマイナーだと思うので啓発にもなったのではないかと思います。また、アナウンスすることで潜在的にいる聞き取りづらい方へも対処できたのではないかと考えました。

・実行委員会だけではなく、後日メールやHP上でもいいので、参加者アンケートを取ったら次回大会に向けて参考になるのではないかと感じました。

・素晴らしい大会になったと思いますし、私も実行委員というなかなかできない経験をさせていただいてありがたかったです。ありがとうございました。

・実行委員として熊本大会に携わることができ、とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

・地震で延期後の開催となりましたが、実行委員会で鬼塚審議員をはじめとし、先輩方の熱意がとても伝わってくる大会でした。そんな中私も今大会の実行委員として携われたことをとても嬉しく思います。今回先輩方から頂いた熱意を現場へ持ち帰り、日頃の業務にぶつけていきたいと思います。また、この思いを自分も後輩たちへ伝えていけるような事務職員になりたいと思います。

・研修部の編修係として、主に大会要項の準備をしました。大会要項冊子の作成については編集係主任や他の先生方ばかりにお世話になり、もっと自分が出来たことがあったんじゃないかと反省しています。

・昨年から、実行委員として熊本大会の準備・運営に携われたことは大変よかったと思っています。今年には災害の影響で、日程や場所も変わり開催出来るか危ぶまれましたが、大会最終日の長崎県会長からの熊本県へのメッセージとても心に残っています。しかし、研修部編修係として自分はほとんど仕事をしていないように感じました。もっと積極的に動こうと思いました。また、研究発表について今後の業務に参考に出来るものやユニークな発表でためになりました。平成音大さんの演奏や「うつくしいひと」の上映については他県の方々に大変よかったと思います。自分も勉強になり楽しかった熊本大会でした。今回の経験を生かし、次の大会にも参加したいと思いました。

【司会進行・司会・助言】

・今回、研究発表が2日間に別れて行われたが、1日目と2日目で参加者が変わる学校や、どちらかしか参加できない人でも、どこかの県の研究発表を聞くことができたので、日程的には厳しいスケジュールとなったが、結果的に良かったと思う。

・自分は途中から実行委員として参加したのですが、色んな人との絆が深まり、とても貴重な経験をさせていただきました。この経験をさせてもらったことに感謝すると共に、ぜひ今回の経験を次に活かしていきたいと思っています。

・開催自体ができるのか、また、開催が決まってからも余震等で他県の事務職員に何かあっては…。と不安でした。しかし、他県の方々が口々に「よかった！」と言っていただけで大会を開催できたことは、熊本県の事務職員にとって誇りの一つとしていいのではないかと思います。九州大会本当にお疲れ様でした。

・熊本地震の影響が大きかった大会でしたが、他県からの心遣いが随所に感じられて、今回の九州大会の開催は成功したと思います。

・宮原先生に立案計画されて、全体をひっぱってもらった。ありがたかった。

【記録】

・大会後の記録作業の具体的な見通しがはっきりしないまま、とりあえず記録しておいて、後で作業することとした。特に支障は生じないが、どのような形式(レイアウト等)で報告書を作る等ははっきりしていれば、当日の写真、メモを取る際にポイントを絞って作業できるかもしれないと感じた。

・熊本地震後の九州大会であったため、開催できるのか不安でしたが、天気にも恵まれ大変良い大会になったと思います。また、初めて実行委員として参加させていただき大変勉強になりました。ありがとうございました。

・今回、自分は実行委員会に参加できて貴重な体験をさせていただきました。他校の先生方と協力して何かを成し遂げるといふ普段の業務ではあまりない体験をすることができてよかったです。ありがとうございました。

・初めての九州大会で、他県の研究発表を聞いてとても勉強になりました。また、係の仕事を通じて他校の先生方とも色々お話しする機会があって良かったです。2日間貴重な経験をさせていただきました。

平成28年度熊本大会当日について
(各部とりまとめ)

部・局

研修部

5 大会1日目(平成28年7月5日)

※「Alt」+「Enter」で改行できます。

【編集】

・車いすの方用の席は確保してありましたが、そこに行くまでの通路が分かりにくかったのではないかと思います。

・大会2日間を通して、研究会の進行、会場準備等スムーズに進んでいてよかったと思う。

・当日は受付補助に入りました。その際に、宮崎県からの参加者の方が、宿泊場所に確認票を渡したところ、「ネットでの予約の場合は受け取れない」と言われたとのこと。事前に周知をお願いしたかったとのこと。

・編集作業には特に問題なかったと思います。

・パンフレットについては、各市町村に問い合わせをして、わざわざ送っていただいたのに使用しなかったのは残念でした。最初から、どういうパンフレットを入れるかの方針を示してもらえば、それぞれ持ち寄るのではなく、「パンフレット担当」を決めておいた方が方向性が定まって良いのではないかと思います。

・当日準備では、まず編集係で訂正シール張りを流れ作業で行いました。先に仕上げなければならなかった役員分の訂正について、少しスムーズにできなかったように思いました。役員の方だけは流れ作業から外して、別枠で行った方がスムーズだったのではないかと感じました。

その後、受付補助に入りました。

その時、他県から参加されている車いすの方が来られました。会場がいっぱいいっぱい通路が狭かったため、通常の入口から車いすでは入れない状態だったのですが、通常の入口から無理やり入ろうとされていました。(ちなみに、その時その周辺に熊本県の関係者はいないようで、同じ県から来られたと思われる方や入口付近の席の方と何とかしようとしていました。)

私自身が車いすなので、後方にしか車いす席が確保できていないこと、ホテルスタッフの通用口からしか入れないことを知っていたためご案内できましたが、受付では他に誰もそのことを知らなかったため、前もって受付や会場係でそういう場合はどうするのか確認しておいた方がよかったのではないかと思います。

ちなみに、その方は前もって車いすを使っているという連絡はされていなかったようで、「事前にお知らせがあったらよかったですね」と言っておられました。事前に連絡がなくても、車いすはじめ配慮が必要な方が来られるかもしれないという前提で準備しておく必要があったのではないかと感じました。

・当日は受付(資料引換券の再発行、当日受付)をしましたが、予想よりも再発行希望の方が多かったため、もう少し余分に用紙の準備があるとありがたかったです。

・終日、会場参加したが、スムーズに進行していたように思います。

・昼食休憩中の「うつくしいひと」の上映はとてもよかったという県外の方のお声をいただきました。

・受付を行っている際に宮崎県の方から、「宿泊券を使おうとしたがネットで予約をしていたため受け取ってもらえなかった。私は別に構わないがそこらへんを周知した方が良いのでは。」と言われました。

・次の大会で駐車券がどうなるかは分かりませんが、駐車券の割引の手続きについてあらかじめ周知しておいた方がよかった気がしました。

・受付の際、「大会1日目参加券をお出してください」と掲示してあるともう少しスムーズに行けたかなと思います。(受付の場でこちらから要求した後に慌てて取り出す方が多く見受けられたので)

・資料などの荷物はそのまま机の上に置いて帰ってもいいですか。という質問がありました。(何かあった時に責任を負えませんが、お持ち帰りくださいと応えてあります。)

・一日目は、大会要項の訂正シール貼り受付の支援を行いました。訂正シール貼りは途中から他の係の先生方にも手伝っていただき、早く終わることが出来ました。午後からは受付の手伝いをしました。その際に、一件、要項冊子の印刷不備の連絡をうけたので、シールをはる際にでも印刷不備の確認をすればよかったと反省しました。

【司会進行・司会・助言】

- ・やはり、質疑応答のやり方については、再度検する必要があると思います。今回、司会助言をさせていただきましたが、質問がないとやはり活発なる議論、実り多い大会にはなりません。今回も、当番県でサクラを用意す状態でした。来年度からは、発表県以外の県は、必ず、各県発表ごとにひとつは質問をする。と、九州理事会で決める必要があると思います。そうしないと、当番になった県は大変です。芝居をしています。質問の取り方としては、各県で参加する学校を選んで(ピックアップして)事前に発表原稿を見させて、質問を検討させておく。そうすると、4本の質問ができますし、ある意味、緊張感のある研究発表になるものと確信します。
 - ・長崎県の発表が伸びた事に対する助言者二人の時間調整の仕方がとても上手だったと思います。
 - ・1、2日目共通ですが、司会進行係は1人もしくは総合司会が兼ねてもいいのではないかと思います。
 - ・担当した鹿児島県の助言について、勉強不足であった。
研究発表すべてに共通する認識に基づき、個別事案について、より具体的な助言をするべきであった。
大変申し訳ありませんでした。
 - ・発表者打合会場が3階から2階に変更になったが、大会冊子やホテルの案内板は3階のままであり、3階で待っておられた発表県があったため、準備不足及び他係との連携不足であった。
- 【記録】**
- ・ビデオカメラを中央に配置し撮影できれば、より良かったと思いました。
 - ・記録係の席をスペースと電源のある位置に固めていただいたのでビデオカメラやカメラでの撮影がスムーズに行えました。
 - ・ビデオカメラの撮影位置が右端だったので記録を行うのは正面からの撮影が良かったと思います。しかし、ステージの正面にカメラを設置したり、写真撮影を行うと会場の後ろからステージが見えなくなってしまうのではないかとということで今回は会場右端のスペースを利用しましたが、三脚の高さを低くするなど工夫をすれば設置できたのではないかと思います。
 - ・録音・録画機器の動作確認が終わったら何をしていたかわからず戸惑いました。
 - ・発表者の打ち合わせ場所はどこかを尋ねられすぐに答えることができなかつたので、知っておく必要があつたかなと思いました。
 - ・ホテルで録音機器を預かってくださったので助かりました。

6 大会2日目(平成28年7月6日)

【編集】

- ・「うつくしいひと」の上映は良かったと思います。
 - ・2日目は、特に役割はありませんでした。
ただ、事前にもし質問等が活発でなければ、編集で推敲を担当した宮崎県の発表で発言するように依頼されていました。他にもそう依頼されていた方々がいたので、質疑応答もスムーズでしたが、一日目も含め一般の参加者からの質問等が無かつたのは寂しく感じました。
逆に、他県からもたくさん発言があつた沖縄県の質疑応答は活発で、他県の状況も知ることができとても良かったと思います。
開催県としては、活発な議論が行われる工夫づくりが必要だと感じました。
 - ・弁当の受け渡しがスムーズに行われていると思いました。
- 【司会進行助言】**
- ・2日目の研究発表において、前列からも質問が出ました。マイク持ちに関しては、そのような場合を想定して前方両サイドへも配置すべきではと感じました。
 - ・司会者の原稿にはないアドリブでの進め方がとても上手で、それにより場が和んだと思います。
 - ・長崎県の協会長の挨拶とお礼の言葉を聞いて本当に胸が熱くなりました。この大会を実施していただいて本当に感謝していますし、自分も少しでもその一役を担えたことを嬉しく思います。

・チャリティ上映、特別講演共にとてもよかったと思います。他県の方も、よかったと話されている声が聞こえてきました。

・「うつくしいひと」の上映、平成音楽大学の講演はたいへんよかった。熊本を知ってもらえる良い企画だったと思います。実現に向けて尽力された方々、お疲れ様でした。

・時間には終了できたのでよかった。沖縄県発表では予想していたより質問がでたのが、司会力不足(即効力)でうまく話の流れがまとめられなかったと反省している。

【記録】

・カメラを2台準備していたが、最終日全日程終了後だったが、2台目も充電切れしてしまった。カメラは台数多く準備しておいた方が良いと感じた(大会中の様子だけでなく、集合写真等とる機会もあるため)。

・大会1日目の機材を会場に預けることができたので機材の準備が1日目よりスムーズに行えたのでよかったです。会場の協力があり、ありがたかったです。

・ICレコーダーで音声を記録するのは行いやすかったと思います。スピーカーからの音量も大きかったので音もはっきり記録することができました。

・特別講演は話だけでなく演奏もあるとのことだったので録音をしていいか迷いましたが、全部録音しました。